

第三期兵庫県地域創生戦略(2025-2029)の策定(案)(以下「戦略案」)への意見と県の考え方

- 1 意見募集期間：令和6年12月27日～令和7年1月16日（21日間）
- 2 意見提出件数：45件（31人）
- 3 意見対応状況：反映（一部反映含む）1件、記載済み2件、今後の参考33件、その他9件
- 4 意見及び考え方一覧：

番号	項目	意見の概要	県の考え方
1	全般	指標・目標の決定根拠とは何か。	[その他] 個々の取組を直接的に評価する統計データ及び「幸せの実感」等の傾向を把握する指標を設定し、それぞれの目標は県の個別計画や国の目標等を踏まえつつ、庁内所管課と調整の上決定しています。
2	Ⅱ-2 基本理念	3つの柱のうち「自分らしく生きられる社会の創出」については、個人の自由といったダイバシティー(多様性)にやや力点があり、インクルージョン(包摂、寛容性)とのバランスを考慮すると「自分らしく共に生きる社会の創出」とする方が良いと感じた。	[今後の参考] 戦略案では、一人ひとりが望む学びや働き方が叶い、活躍できる環境を創出する多様性と、すべての人が社会の一員として受け入れられる包摂性や寛容性を含む社会を想定し、いずれも重要な要素と考えていますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
3	Ⅱ-3 8つの方向性	「3 寛容性を広げる」に関して、LGBT法を規制する条例を県独自に制定して欲しい。	[その他] ご意見として承りました。
4	Ⅱ-3 8つの方向性	「04 プロスポーツクラブ等との連携による地域活性化の取組(P16)」について、全て神戸・男性のチームを掲載しているが、あたかも男性・神戸市を中心に政策を考えているという印象を受ける。	[その他] 県と包括連携協定を締結したプロスポーツクラブの事例を掲載したものです。
5	Ⅲ-2 戦略推進プロジェクト	移民で労力を生み出すのではなく、自動化・ロボット化などで効率化を図ることで仕事が増え、県外からの流入があるのではないか。	[今後の参考] 地域経済の持続的な成長を牽引する産業としてロボットやAI・IoT分野等への支援を強化するとともに、スマート化による農業の生産性向上等を推進し、ご意見のとおり県外からの人口流入に繋げるよう努めてまいります。

番号	項目	意見の概要	県の考え方
6～28※	Ⅲ-2 戦略推進プロジェクト	<p>「外国人「第二のふるさと」プロジェクトについて、以下の理由から反対する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移民を推進する取組であり、日本の国としての形が変わり、伝統的な文化が失われる恐れがあること</li> <li>・治安悪化の恐れがあること</li> <li>・日本人の就労機会や雇用環境の悪化が想定されること</li> <li>・日本の文化やルールを守らず、地域で軋轢や問題が生じる恐れがあること</li> <li>・日本人に対する取組に税金を投入して欲しい</li> </ul>	<p>[今後の参考]</p> <p>本県ではこれまでも、国籍や文化など多様な背景を有する人が集まり、支え合うことで国際性豊かな地域として発展してきており、日本人も外国人県民も同様に安心して暮らせる多文化共生の実現に取り組んできました。</p> <p>また、社会経済情勢の変化により、外国人県民の更なる増加や多国籍化、在住地域の分散化が進む中、様々な課題等への対応が重要です。</p> <p>そのため、戦略案では「寛容性を広げる」という方向性のもと、地域の活性化にもつながる外国人と地域コミュニティとの交流促進や、地域の実情に応じた生活相談等を通じて、言語や文化等に関する課題の解決に取り組んでいきます。</p> <p>また、外国人を含め、だれもが安心して就職・定着できるよう就労環境の向上とともに、人出不足対策としてマッチングを支援することで、活力のある地域経済の実現を目指します。</p> <p>様々なご意見を踏まえながら、戦略を推進していきます。</p>
29	Ⅲ-2 戦略推進プロジェクト	外国人への支援強化の見解は、どの機会に県民からコンセンサスを得たのか。	<p>[その他]</p> <p>戦略案については、有識者等からなる兵庫県地域創生戦略会議や企画委員会での議論、市町や関係者等の意見を踏まえ、県で案を作成し、この度のパブリックコメントにより、県民の皆様のご意見を頂いたところです。今後は更に県議会にて議論を頂くこととしています。</p>
30	Ⅲ-2 戦略推進プロジェクト	「ひょうご五国豊穰プロジェクト」に賛成。自然災害への対策を強化しつつ、企業と連携した省力化に繋がる技術の開発や、ブランド強化に繋がる企業の誘致等により、若者も参入しやすい地域づくりを目指してほしい。	<p>[記載済み]</p> <p>ご意見の通り、企業等と連携した兵庫型スマート農業技術の開発や普及定着の推進、異業種連携によるブランド化・ビジネス創出(P45)に取り組み、若者も参入しやすい地域づくりを目指していきます。</p>

※同趣旨のご意見を計 23 件頂いたので、整理して掲載

番号	項目	意見の概要	県の考え方
31	Ⅲ-2 戦略推進プロジェクト	「若者Z世代応援プロジェクト」に賛成。若者の意識を改革させ、結婚に繋がる出会い支援が必要。その上で、子育てしやすい地域づくりに取り組んで欲しい。	[記載済み] ご意見の通り、多様な出会いの機会創出や経済負担の軽減(P47)、多様な主体の参画による子育て家庭を見守る地域づくり(P48)を目指していきます。
32	Ⅲ-2 戦略推進プロジェクト	高齢者施策について、移動手段や食事の確保、医療機関への受診、空き家や耕作放棄地などの多岐にわたる課題が発生しており、今後も加速度的に増加するものとする。その対応は、「戦略推進プロジェクト」として位置付けるなど、重点的に取り組むべき課題であるとする。	[今後の参考] ご指摘の内容については「8 安心して暮らし続けられる地域を創る」方向性において、AI や IoT などの先端技術を活用しながら、医療・交通・安全の確保など生活機能の維持に努めるとともに、高齢者への健康づくりへの支援強化や、安心して暮らせる地域づくりを推進して参ります。
33	Ⅲ-3-① 総合的な取組方針	県の経済を活性化するには今後需要が伸びる次世代産業を育成することが鍵であり、そのため教育や開発支援、量産支援、産業拠点の開発が重要。特に県では、協働ロボット産業の育成や、災害に強い魚の陸上養殖、海底資源処理施設の誘致等が良い。	[今後の参考] ご意見を参考にしつつ、次世代成長産業拠点の形成促進や、ものづくり産業におけるAI・ロボティクス等の技術革新の促進等に取り組み、地域経済の活性化を推進して参ります。
34	Ⅲ-3-① 総合的な取組方針	企業誘致や農業振興を通じて、他県からの日本人移住を推進し、県内で子育てができる環境を整備することが必要	[今後の参考] ご意見の通り、産業立地条例に基づく成長産業の立地促進や、大消費地への近接性や豊富な地域資源を活かした持続可能な農村地域づくりの推進等により、県外から選ばれる地域を目指すとともに、安全安心な子育て環境を整備して参ります。
35	Ⅲ-3-① 総合的な取組方針	県内の交通インフラ整備を更に進め、北部から短時間で神戸に通勤可能となれば、北部地域の人口流出が防げると考えるので、取組を進めて欲しい。	[今後の参考] ご意見の通り、広域的な地域間交流を促進するため、高規格道路ネットワークの整備や、コウノトリ但馬空港の活用推進等に取り組み、交通インフラの整備に努めてまいります。

番号	項目	意見の概要	県の考え方
36	Ⅲ-3-① 総合的な取組 方針	P47「(3)子育てに係る経済的負担の軽減」について、「乳幼児から中学3年生までの医療負担軽減」とあるが、これを拡充して「こどもの医療負担軽減」として欲しい。	[その他] ご意見として承りました。
37	Ⅲ-3-① 総合的な取組 方針	インバウンドについて、促進し過ぎるとそれにより経済・景気が左右されることになり、安定性に欠けるため、日本人向けの国内観光の推進により力を入れるべき。	[今後の参考] インバウンドの誘客については 2025年大阪・関西万博や神戸空港の国際化等の機会を捉え戦略的にプロモーションに取り組むとともに、ご意見を踏まえ、国内観光についても地域資源を活かした誘客促進や観光客の受入基盤を整備して参ります。
38	Ⅲ-3-① 総合的な取組 方針	若者が農業に従事しないのは農業に将来性がないことが理由。国は農業従事者に一定の所得保証をすべきと考える。	[その他] ご意見として承りました。
39	Ⅲ-3-② 各地域におけ る取組方針	神戸地域の取組方針について、目指す姿の「山と海に囲まれたみなとまち神戸 人が集い、ともに繋がり、みんなで希望を叶えるまち」であることを踏まえると、各取組方針は1と2を入れ替えて「山海の自然に囲まれたみなとまち神戸の活力づくり」を最初に位置付けた方が良いのではないかと(P55)。	[今後の参考] 地域の目指す姿の実現に向けて、各取組方針を総合的に推進していきます。
40	Ⅲ-3-② 各地域におけ る取組方針	北播磨地域の取組方針について、地理的優位性や地域資源としてのインフラの活用、安全性、今後の発展可能性を認識し、県土のバランスのとれた発展を推進するため、広大な県有地や市町有地を利活用した企業誘致、それに伴うインフラ整備などを、北播磨の取組方針に盛り込むとともに、総合的な取組方針における「地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組」に位置付けてはどうか。	[今後の参考] ご意見を参考にしつつ、地域特性を活かした取組や社会インフラの整備などにより、交流人口の拡大や活力の創出を図るとともに、産業立地条例に基づく成長産業の立地促進や、高規格道路ネットワークの整備などにより、県土のバランスのとれた発展を推進いたします。

番号	項目	意見の概要	県の考え方
41	Ⅲ-3-② 各地域における取組方針	中播磨地域の取組方針について、指標目標「若者の転入超過数(20～39歳)」の現状が▲957人で目標が▲1,000人とあるが(P67)、引き下げる方向での目標設定はいかがか。	[反映] 中播磨地域における「若者の転入超過数」は年々減少幅が大きくなっていることから、直近の水準を少なくとも維持することを目指して設定したものです。しかし、ご意見を踏まえ、その趣旨を明確にするため、当該目標を「▲950人」に改めるとともに、備考として「直近実績並の水準維持を目指して設定」を追記します。
42	Ⅲ-3-② 各地域における取組方針	淡路地域の取組方針について、「4住み続けたくなる島づくり」の「淡路島への移住を促進する環境づくりとともに」の前に、「空き家を含めた住宅ストックの活用をはじめとした、」を挿入してはどうか(P75)。	[今後の参考] 空き家対策は空家活用特区制度等により、全県的な課題として取り組んでおり、空き家も含めた受入環境の整備を進めつつ、移住・定住促進の強化に努めてまいります。
43	その他	県主催の地域創生イベントに関して、報道事業者へ委託することは、コンプライアンス上、問題があるのでは。	[その他] 戦略案の内容とは関係のないご意見のため、回答は控えさせていただきます。
44	その他	万博への予算投入を止めて頂きたい。	[その他] ご意見として承りました。
45	その他	脱炭素化の推進の意味がなく、日本がCO <sub>2</sub> 排出をゼロにしても地球の気温は0.006度しか変わらない。	[その他] ご意見として承りました。